

エピソード

一学期からライトを使って光遊びをしていた子ども達。光だけではなく影にも興味をもつようになり、手のひらや洗濯ばさみなどの影を映して楽しむ姿がありました。

お月見に向けてどんなことをしたら楽しいか話し合いをしていると、普段から影遊びを楽しんでいる子が「影絵はどう?手で動物とかつくれるよ」と言いました。それを聞いた友達が「僕も影絵できるよ。ほらキツネ」と親指と中指と薬指を合わせてキツネの手をつくりました。「それなら僕はクワガタをつくれるよ。ここ(人差し指)が角だよ」といろいろな動物をつくって見せ合います。「いいじゃん。じゃあみんなで影絵しようよ」「やってみたい!」と盛り上がり、リズム室のカーテンを閉めて影絵遊びをすることにしました。「これはなんででしょう」と自分なりに形をつくって友達に問題を出して答えてもらうことを楽しんでいました。両手でつくって一人では影をつくれな時は近くの友達が「照らしてあげる」と手伝う姿もありました。自分なりに色々試す中で「これ見て!」と嬉しそうに言っている子の周りに集まって見て見ると、親指と中指と薬指でボールをつかみ、人差し指と小指はピンと上に上げていました。「すごい!何か食べてるみたい」「キツネかな?」「ウサギにも見える」「お団子を食べているんだよ」「あーお月見だもんね」と言い合い、お月見団子を食べている様子を表現することを楽しんでいました。

子どもの育ちや学び

これは何でしょう?(質問)

見て!お月見団子を食べているところだよ(嬉しさ・試す)



カエルかな?クワガタにも見える(回答)

- ・指の形や手の向きを工夫し、どうやったら生き物に見えるか試す。
- ・自分なりに影絵をつくり、友達や保育者にどんな影絵をつくったか伝えたり、「これは何でしょう?」と問題を出して答えてもらったりすることを楽しむ。

すごいな。僕たちもやってみたい
どうやってやるの?
(興味・疑問・試みる)



- ・ボールを使う方法を思いつき、お月見団子を食べている様子に見立てる。
- ・友達のしていることに興味をもち、認めたりやり方を真似て自分もやってみようとする。



照らしてあげる
(優しさ)

- ・両手を使っていて一人で影絵遊びができない時は、役割を分け友達が照らしてあげる。

保育者の思い

- ・子ども達が影絵に興味をもったタイミングを逃さないようにしたいという思いがあったので、「やりたい」と言ったその日にみんなで影絵遊びをすることにしました。
- ・自分達で影絵をつくったり、見つけたりすることを楽しんでほしいと思っていたので最初はあまり手の形を教えませんでした。自分なりに生き物に見立てられると「できた!」と嬉しそうにしたり、「これは何でしょう?」と問題を出したりする姿が見られ、さらに盛り上がりました。一人の気付きが周りにも伝わるように、友達がしていることや手の形に気付けるような声掛けをしました。

家庭だったら・・・

影はいつも生活の中にあり、当たり前になっていますが、よく見てみるとその面白さに気付くと思います。寝る前の暗い部屋で、携帯のライトで影絵遊びをしてみても、面白いかもかもしれませんね。